

令和7年度 大阪府立槻の木高等学校 第3回 学校運営協議会

令和8年1月30日 14:00~16:00

大阪府立槻の木高等学校 応接室

委員

会長 渡辺 将史(本校 PTA 会長)

副会長 岩元 優子(高槻市立第一中学校校長)

委員 宮坂 政宏 官田 光史

【欠席】 田中 隆夫 瓜生 彩子

事務局

浅田 和也(学校長)

坂口 亮(教頭) 小川 大樹(教頭) 江菅 純一(首席) 井上 公彦(首席)

【欠席】

水井 理弘(事務長) 安福 美香(学習指導室長)

次第

1、開会

委員および事務局員紹介

学校長挨拶

会長挨拶

2、学校長より

・令和7年度学校経営計画及び学校評価の達成状況についての説明

大きな成果として授業改善と学習意欲の向上が挙げられ、生徒アンケートでは「授業がわかりやすい」が85.7%、「質問しやすい」が90.4%という高い数値を示しました。ICTの活用が定着し、「発表の機会がある」が92%となっています。

進路指導においても顕著な成果が見られ、「進路について考える機会がある」が96.2%、「進路希望の具体化」が86.6%と大きく伸びました。これは「啐啄サポート」という3年生向けの取り組みにより、担任だけでなく全教員が生徒の進路実現を支援する体制が充実したことによるものです。

学校行事や国際交流についても高い評価を得ており、「体育祭、文化祭、修学旅行すべてが90%近い満足度」を示しています。槻の木ネクストステージという学校外での学びの取り組みでは、「大学訪問や海外交流、姉妹校との交流を通じて95%から100%の満足度」を達成し、生徒の主体性育成に効果が見られました。

一方で課題も明確になりました。自習室の利用が低下傾向にあり、3年生のICT活用が減少しています。これは3年生の授業スタイルが1・2年生と異なることが要因として考えられます。部活動の参加率も下向きの傾向があります。

遅刻については、年間1000件以下という目標に対し、12月末で1113件となっており、目標達成は困難な見込みです。特に連絡なしの無断遅刻の割合についても検討が必要とされています。

学習環境や校舎施設設備に関する保護者の満足度は49.8%と50%を切っており、学校の老朽化が影響していると分析されています。また、校長ブログや部活動ブログの発信数も目標に達していない状況です。

#### ・令和8年度学校経営計画及び学校評価についての説明

経年変化を見る必要から項目は大きく変更されていませんが、新たに4つの項目が追加されました。遠隔授業等による学習機会の保障、地域社会での相互理解に基づく協働教育の推進、デジタル化進展による新たな課題への対応、そして働き方改革の推進です。特に働き方改革については、年間720時間を超える時間外在校等時間の教職員をゼロにすることが必須目標として設定されました。12月末現在で720時間超過者は7人、月平均45時間超過者は21人となっており、前年度より改善傾向にあります。

#### 3、令和7年度学校教育自己診断のアンケート結果報告（坂口教頭）

生徒アンケートでは教育活動の着実な改善と満足度向上が確認された一方、学習面でのICT活用など今後重点的に取り組むべき課題も明確になりました。保護者アンケートでは学校への信頼と満足度が全体的に向上し、特に授業改善、生活指導、進路指導、家庭との連携、学校行事で高い評価を得ました。

#### 4、後期授業アンケート結果について（小川教頭）

先生方の創意工夫が生徒に評価されており、昨年度比で数値が上昇している項目が多い一方、家庭での自宅学習時間の確保が課題として浮き彫りになりました。

#### 協議（授業アンケートについて）

委員からの意見として、**授業の質の高さや生徒の真面目な取り組み、発言を求める双方向的な授業展開が評価**されました。一方で、家庭学習時間の確保や予習・復習の習慣化については継続的な課題として指摘されました。

#### 協議（進路指導について）

進路実績については、国公立大学15人以上という目標に対し、現在の状況や過去の実績を踏まえた議論が行われました。私立大学の宣伝力や新しい学部・学科の魅力、学費差の縮小などが国公立志向に影響を与えている可能性が指摘されました。

#### 協議（遠隔授業について）

登校の意思があるにも関わらず登校できない生徒への学習機会保障として実施されており、医師の診断書だけでなくスクールカウンセラーの見立ても参考にした柔軟な対応が行われています。現在はリアルタイム配信を基本としていますが、予算的制約により機器の性能に課題があることが報告されました。

#### 協議（学校経営について）

校長のリーダーシップについては、教職員アンケートで 100%という異例の高評価を得ており、教育理念の明確化や組織運営の方向性共有が大きく進展していることが確認されました。これにより教職員のストレスチェック結果も改善し、全国平均を 100 とした場合、前年度の 112 から今年度は 96 に低下しました。最後に、SNS が生徒に与える影響について懸念が表明され、生活時間への影響、人権問題、思考プロセスへの影響などが今後の課題として指摘されました。

最後に、来年度の第1回学校運営協議会は6月13日（土）に開催予定されていることが案内されました。